

背景

松本のシンボルである松本城が、今、節目を迎えている。もうすぐ、南西に大きな堀をつくる工事がはじまる。2029年には天守の耐震工事がはじまる。その前に。今まで「光と氷の城下町フェスティバル」として行ってきたイベントを改めて「松本かっちゃん」と銘打ち、城に集まる大切なイベントとして盛り上げていきたい。

松本にとって松本城とは

恐れ多いと仰ぎ見る城でなく、ふと見ればそこにある身近な存在。それだけに愛着や親しみが強く、松本城あつての松本である。松本に暮らす人たちは昔からそう思っており、街全体としても120年以上にわたって天守の修理や石垣の復元など、それぞれの時代で松本城、ひいては松本のことを想って行動してきた。今日も松本城があることは、その証です。

松本城 = このまちを愛する人がいて、
その気持ちをもちながら
日々を営んでいる証。

参考：史跡松本城の整備の経過

年度	整備内容
明治36～大正2	小林有也らの尽力による天守の修理(明治の大修理)
昭和25～30	国直轄の解体修理第一号(昭和の大修理)
昭和25～30	天守解体に伴う天守台石垣修理(本丸南側石垣)
昭和25～30	黒門東南の内堀の復元
昭和28	黒門石垣の復元
昭和30	埋橋の建設(史実に基づいたものではない。)
昭和35	黒門復興
昭和42～44	太鼓門門台石垣復元
昭和54～60	二の丸御殿跡平面整備
昭和54～55	太鼓門北門台石垣復元
昭和58	埋め立てられていた二の丸東外堀の復元
昭和63～平成元	黒門枳形高麗門と袖塀を復元(発掘調査を含む。)
平成元	二の丸裏御門橋復元。土橋を撤去し木橋を復元
平成8～10	太鼓門一の門、二の門を復元(太鼓櫓は復元できず。)
平成18～20	西総堀土塁公園の整備
平成29	黒門改修(一の門の屋根瓦葺替え、石垣応急処理、棧梁補強)
令和3～	太鼓門耐震対策(一の門、二の門、袖塀補強工事)
令和5～	堀の浚渫

120年

松本はずっとお城のために行動しつづけていて、
今もその長い長い努力の歴史の最中にいる。

松本かっちゃんとは



冬、この街の象徴である松本城に集まり、拍子木を響かせたり、寒さの中で体を温めたりして、松本をみんなでいっしょに楽しむ。その記憶が一人ひとりの中に積み重なり、めぐりめぐって、お城やこのまちを未来まで守ることになる。そんな体験をつくりたいと思っています。

松本かっちゃんとは、「100年先も500年先もお城を守るための記憶をつくる祭り」です。

松本 かっちゃん

光と氷の城下町まつり

城がある。

城を思う人がいる。

修理と復元をつづけて120年。

私たちは、長い長い努力の先にいる。

ついに、堀が。

水をたたえた南西の堀。

その工事がはじまるころに天守も、

次の100年に向けて姿を隠すだろう。

景色が変わる。

新しい松本が生まれる。

その日まで想いをつなぐため、

いや、何年も先まで想いよ届けと、

今、城をかこむおまつりをはじめよう。

冬に集まる。

歌い、輪になり、踊りだす。

赤いほっぺに白い息、夜通し氷を削る音。

冷えた体を鍋で温め、湯につかれば心の芯まで。

寒さを分けあう人がいる。まちを愛する友がいる。

その記憶は、このまちを動かすエネルギーになっていく

かっちゃん かっちゃん 拍子木鳴らせ

城はそれを聞いて知るだろう

松本を楽しむ皆がいることを

迎える年が明るいということを

松本かっちゃん、開幕です。

プロジェクションマッピングの演目は、
1期・2期で変えたいと思っています。

**1期：松本かっちゃんの世界観を
表現するコンテンツ**

**2期：松本市が指定する、
市に関連する映像作品に基づく内容**

(具体的な内容は、演目に関する誓約書をご提出いただいた後にお伝えします)

**本プロポーザルにおいては
1期の演出プランをご提案ください**

松本かっちゃんの世界観をどう演出するか

城がある。

城を思う人がいる。

修理と復元をつづけて120年。

私たちは、長い長い努力の先にいる。

ついに、堀が。

水をたたえた南西の堀。

その工事がはじまるころに天守も、

次の100年に向けて姿を隠すだろう。

景色が変わる。

新しい松本が生まれる。

その日まで想いをつなぐため、

いや、何年も先まで想いよ届けと、

今、城をかこむおまつりをはじめよう。

冬に集まる。

歌い、輪になり、踊りだす。

赤いほっぺに白い息、夜通し氷を削る音。

冷えた体を鍋で温め、湯につかれば心の芯まで。

寒さを分けあう人がいる。まちを愛する友がいる。

その記憶は、このまちを動かすエネルギーになっていく

かっちゃん かっちゃん 拍子木鳴らせ

城はそれを聞いて知るだろう

松本を楽しむ皆がいることを

迎える年が明るいということ

松本かっちゃん、開幕です。